
付録 A

CONTENTS

A.1 仕様	326
A.2 24 時間運用上の留意点	333
A.3 LAN 経由の電源投入 / 切断時の留意点	334
A.4 CPU 増設時の OS の変更手順	338
A.5 メモリダンプの取得	344

A.1 仕様

ここでは、本サーバの本体仕様および内蔵ハードディスクユニットの仕様を説明します。

A.1.1 本体仕様

本サーバの仕様は、次のとおりです。
他の周辺装置の仕様については、各装置に添付の取扱説明書をご覧ください。

PRIMERGY ES320

タイプ		ディスクレス タイプ	NT 4.0 アレイタイプ		
			36GB	18GB	9GB
型名	Pentium® III 933MHz	GP53DE1A	GP53DE1W	GP53DE12	GP53DE11
	Pentium® III 1BGHz	GP53DL1A	GP53DL1W	GP53DL12	GP53DL11
CPU	周波数（2 次キャッシュ）	Pentium® III 933MHz / 1BGHz（256KB）			
	マルチ数	1(最大 2)			
メモリ	標準	256MB（256MB DIMM × 1 枚）			
	増設単位	128 / 256 / 512 / 1024MB			
	最大容量	4 スロット 4GB（1024MB DIMM × 4 枚）			
ビデオ RAM 容量		4MB			
グラフィックス		VGA チップ：ATI RAGE XL（PCI） 648 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色：解像度、OS などによって異なる（*）			
サーバモジュール		オプション			
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ（標準搭載含む） 種類：CD-ROM ユニット、DAT ユニット、 光磁気ディスクユニット、1/4 インチ CRMT ユニット、EDT20 ユニット、 DLT ユニット（2 ベイ占有）、DAT オートチェンジャ（2 ベイ占有）			
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM ユニット（ATAPI）			
内蔵 3.5 インチハードディ		5 ベイ（標準搭載ハードディスクユニットを含む）			
スクベイ	標準	オプション	36.4G × 3 （10Krpm）	18.2G × 3 （10Krpm）	9.1G × 3 （10Krpm）
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB（Ultra2 Wide SCSI / Ultra 160 SCSI）			
	内蔵最大	36.4GB × 5 = 182.0GB			
内蔵ディスクアレイ		オプション	標準		
拡張スロット		PCI スロット（64bit/33MHz）× 4、PCI（32bit/33MHz）× 2 （アレイタイプは、SCSI アレイコントローラカードで 1 スロット占有済）			
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ（2 モード 1.44MB / 720KB）標準搭載			
インタフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T) × 1（ベースボード標準搭載）、 シリアル x2、パラレル x1、キーボード、マウス、モニタ、RCI x1			
キーボード / マウス		標準添付（ラックマウント変換機構適用時：非添付）			
外形寸法横幅 × 奥行き × 高さ（mm）		174 × 615 × 449 （ラックマウント変換機構適用時：482 × 565 × 174mm（4U）、 奥行きは取っ手含まず） （内蔵 DLT 装置（GP5-DL201）搭載時：482 × 595 × 174mm（4U））			
質量		最大 35Kg			
内蔵時計精度		誤差 2 ～ 3 分 / 月			
消費電力		最大 340W /（最大 1224KJ/h）			
電源		AC100V(50/60Hz) / 二極接地型			
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台（冗長電源可能）			
ファン		4 個（冗長ファン）			
エネルギー消費効率		J 区分 0.052(Pentium® III 933MHz) / J 区分 0.056(Pentium® III 1BGHz)			

*）ドライバのインストールには、Windows NT 4.0 サービスパック 4 以降が必須です。
エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。
ラックマウント変換機構適用時は非添付

PRIMERGY ES320

タイプ		Windows 2000 アレイタイプ		
		36GB	18GB	9GB
型名	Pentium® III 933MHz	GP53DE1X	GP53DE16	GP53DE15
	Pentium® III 1BGHz	GP53DL1X	GP53DL16	GP53DL15
CPU	周波数（2 次キャッシュ）	Pentium® III 933MHz / 1BGHz（256KB）		
	マルチ数	1（最大 2）		
メモリ	標準	256MB（256MB DIMM × 1 枚）		
	増設単位	128 / 256 / 512 / 1024MB		
	最大容量	4 スロット 4GB（1024MB DIMM × 4 枚）		
ビデオ RAM 容量		4MB		
グラフィックス		VGA チップ：ATI RAGE XL（PCI） 648 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色：解像度、OS などによって異なる		
サーバモニタモジュール		オプション		
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ（標準搭載含む） 種類：CD-ROM ユニット、DAT ユニット、 光磁気ディスクユニット、1/4 インチ CRMT ユニット、 EDT20 ユニット、DLT ユニット（2 ベイ占有）、 DAT オートチェンジャ（2 ベイ占有）		
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM ユニット（ATAPI）		
内蔵 3.5 インチハードディ		5 ベイ（標準搭載ハードディスクユニットを含む）		
スクベイ	標準	36.4G × 3 （10Krpm）	18.2G × 3（10Krpm）	9.1G × 3 （10Krpm）
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB（Ultra2 Wide SCSI / Ultra 160 SCSI）		
	内蔵最大	36.4GB × 5 = 182.0GB		
内蔵ディスクアレイ		標準		
拡張スロット		PCI スロット（64bit/33MHz）× 4、PCI（32bit/33MHz）× 2 （SCSI アレイコントローラカードで 1 スロット占有済）		
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ（2 モード 1.44MB / 720KB）標準搭載		
インタフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T) × 1（ベースボード標準搭載）、 シリアル x2、パラレル x1、キーボード、マウス、モニタ、RCI x1		
キーボード / マウス		標準添付（ラックマウント変換機構適用時：非添付）		
外形寸法横幅 × 奥行き × 高さ（mm）		174 × 615 × 449 （ラックマウント変換機構適用時：482 × 565 × 174mm（4U）、 奥行きは取っ手含まず） （内蔵 DLT 装置（GP5-DL201）搭載時：482 × 595 × 174mm（4U））		
質量		最大 35Kg		
内蔵時計精度		誤差 2 ～ 3 分 / 月		
消費電力		最大 340W /（最大 1224KJ/h）		
電源		AC100V(50/60Hz) / 二極接地型		
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台（冗長電源可能）		
ファン		4 個（冗長ファン）		
エネルギー消費効率		J 区分 0.052(Pentium® III 933MHz) / J 区分 0.056(Pentium® III 1BGHz)		

エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

PRIMERGY ES320

タイプ		Windows 2000 / NT 4.0 アレイタイプ		
		36GB	18GB	9GB
型名	Pentium® III 933MHz	GP53DE1W1	GP53DE1V1	GP53DE1T1
	Pentium® III 1BGHz	GP53DL1W1	GP53DL1V1	GP53DL1T1
CPU	周波数 (2 次キャッシュ)	Pentium® III 933MHz / 1BGHz (256KB)		
	マルチ数	1(最大 2)		
メモリ	標準	256MB (256MB DIMM × 1 枚)		
	増設単位	128 / 256 / 512 / 1024MB		
	最大容量	4 スロット 4GB (1024MB DIMM × 4 枚)		
ビデオ RAM 容量		4MB		
グラフィックス		VGA チップ : ATI RAGE XL (PCI) 648 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色 : 解像度、OS などによって異なる (*)		
サーバモニタモジュール		オプション		
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類 : CD-ROM ユニット、DAT ユニット、 光磁気ディスクユニット、1/4 インチ CRMT ユニット、 EDT20 ユニット、DLT ユニット (2 ベイ占有) DAT オートチェンジャ (2 ベイ占有)		
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM ユニット (ATAPI)		
内蔵 3.5 インチハードディ		5 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)		
スクベイ	標準	36.4G × 3 (10Krpm)	18.2G × 3 (10Krpm)	9.1G × 3 (10Krpm)
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB (Ultra2 Wide SCSI / Ultra 160 SCSI)		
	内蔵最大	36.4GB × 5 = 182.0GB		
内蔵ディスクアレイ		標準		
拡張スロット		PCI スロット (64bit/33MHz) × 4、PCI (32bit/33MHz) × 2 (SCSI アレイコントローラカードで 1 スロット占有済)		
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載		
インタフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T) × 1 (ベースボード標準搭載) シリアル x2、パラレル x1、キーボード、マウス、モニタ、 RtLx1		
キーボード / マウス		標準添付 (ラックマウント変換機構適用時 : 非添付)		
外形寸法横幅 × 奥行き × 高さ (mm)		174 × 615 × 449 (ラックマウント変換機構適用時 : 482 × 565 × 174mm (4U)、 奥行きは取っ手含まず) (内蔵 DLT 装置 (GP5-DL201) 搭載時 : 482 × 595 × 174mm (4U))		
質量		最大 35Kg		
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分 / 月		
消費電力		最大 340W / (最大 1224KJ/h)		
電源		AC100V(50/60Hz) / 二極接地型		
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源可能)		
ファン		4 個 (冗長ファン)		
エネルギー消費効率		J 区分 0.052(Pentium® III 933MHz) / J 区分 0.056(Pentium® III 1BGHz)		

*) ドライバのインストールには、Windows NT 4.0 サービスパック 4 以降が必須です。
エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複
合理論性能で除したものです。
本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

PRIMERGY ES320

タイプ		Linux タイプ	Linux アレイタイプ
型名	Pentium® III 933MHz	GP53DE1G	GP53DE1GV
	Pentium® III 1BGHz	GP53DL1G	GP53DL1GV
CPU	周波数 (2 次キャッシュ)	Pentium® III 933MHz / 1BGHz (256KB)	
	マルチ数	1 (最大 2)	
メモリ	標準	256MB (256MB DIMM × 1 枚)	
	増設単位	128 / 256 / 512 / 1024MB	
	最大容量	4 スロット 4GB (1024MB DIMM × 4 枚)	
ビデオ RAM 容量		4MB	
グラフィックス		VGA チップ: ATI RAGE XL (PCI) 648 × 480、800 × 600、1024 × 768、1280 × 1024 表示色: 解像度、OS などによって異なる	
サーバモジュール		-	
内蔵 5 インチベイ		3 ベイ (標準搭載含む) 種類: CD-ROM ユニット、DAT ユニット、 光磁気ディスクユニット、1/4 インチ CRMT ユニット、 EDT20 ユニット、DLT ユニット (2 ベイ占有) DAT オートチェンジャ (2 ベイ占有)	
	標準搭載	40 倍速 CD-ROM ユニット (ATAPI)	
内蔵 3.5 インチハードディ		5 ベイ (標準搭載ハードディスクユニットを含む)	
スクベイ	標準	9.1G × 1 (10Krpm)	18.2G × 3 (10Krpm)
	増設単位	9.1GB / 18.2GB / 36.4GB (Ultra2 Wide SCSI / Ultra 160 SCSI)	
	内蔵最大	36.4GB × 5 = 182.0GB	
内蔵ディスクアレイ		オプション	標準
拡張スロット		PCI スロット (64bit/33MHz) × 4、PCI (32bit/33MHz) × 2 (アレイタイプは、SCSI アレイコントローラカードで 1 スロット占有済)	
フロッピーディスクドライブ		3.5 インチ (2 モード 1.44MB / 720KB) 標準搭載	
インタフェース		LAN(100BASE-TX / 10BASE-T) × 1 (ベースボード標準搭載) シリアル x2、パラレル x1、キーボード、マウス、モニタ、RCI x1	
キーボード / マウス		標準添付 (ラックマウント変換機構適用時: 非添付)	
外形寸法横幅 × 奥行き × 高さ (mm)		174 × 615 × 449 (ラックマウント変換機構適用時: 482 × 565 × 174mm (4U)、 奥行きは取っ手含まず) (内蔵 DLT 装置 (GP5-DL201) 搭載時: 482 × 595 × 174mm (4U))	
質量		最大 35Kg	
内蔵時計精度		誤差 2 ~ 3 分 / 月	
消費電力		最大 340W / (最大 1224KJ/h)	
電源		AC100V(50/60Hz) / 二極接地型	
電源ユニット		標準で 1 台、最大 2 台 (冗長電源可能)	
ファン		4 個 (冗長ファン)	
エネルギー消費効率		J 区分 0.052(Pentium® III 933MHz) / J 区分 0.056(Pentium® III 1BGHz)	

エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により、測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
本サーバの仕様は、改善のため予告なしに変更することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

A.1.2 内蔵ハードディスクユニットの仕様

内蔵ハードディスクユニットの仕様を次に示します。

内蔵ハードディスクユニット (GP5-HDH9C/GP5-HDH89)

型名	GP5-HDH9C	GP5-HDH89
インタフェース	Ultra2 Wide SCSI または Ultra Wide SCSI (*1)	
記憶媒体	3.5 インチハードディスク	
記憶容量 (*2)	9.1GB	18.2GB
セクタ容量	512Byte	
最大データ転送速度	40MB/s(Ultra Wide) 80MB/s(Ultra2 Wide)	
平均回転待ち時間	4.17ms	
平均シーク時間	7.0ms(Read) 7.5ms(Write)	
回転数	7200rpm	
外形寸法 (W X D X H)	101.6 X 146.0 X 25.4 (mm)	
質量	0.6kg	

*1) : SCSI 環境に合わせて自動的に切り替わります。

*2) : 記憶容量は、フォーマット時、1GB=1000³B 換算です。

内蔵ハードディスクユニット (GP5-HDH9D/GP5-HDH8A/GP5-HDH63)

型名	GP5-HDH9D	GP5-HDH8A	GP5-HDH63
インタフェース	Ultra 160 / Ultra2 / Ultra Wide SCSI (*1)		
記憶媒体	3.5 インチハードディスク		
記憶容量 (*2)	9.1GB	18.2GB	36.4GB
セクタ容量	512Byte		
最大データ転送速度	40MB/s(Ultra Wide)、80MB/s(Ultra2 Wide)、160MB/s(Ultra 160)		
平均回転待ち時間	2.99ms		
平均シーク時間	5.2ms(Read)、 5.8ms(Write)		5.2ms(Read)、 6.0ms(Write)
回転数	10000rpm		
外形寸法 (W X D X H)	101.6 X 146.0 X 25.4 (mm)		
質量	0.7kg		0.75kg

*1) : SCSI 環境に合わせて自動的に切り替わります。

*2) : 記憶容量は、フォーマット時、1GB=1000³B 換算です。

内蔵ハードディスクユニット (GP5-HDH8B)

型名	GP5-HDH8B
インタフェース	Ultra 160 / Ultra2 / Ultra Wide SCSI (*1)
記憶媒体	3.5 インチハードディスク
記憶容量 (*2)	18.2GB
セクタ容量	512Byte
最大データ転送速度	40MB/s(Ultra Wide)、80MB/s(Ultra2 Wide)、160MB/s(Ultra 160)
平均回転待ち時間	2.00ms
平均シーク時間	3.9ms(Read)、 4.5ms(Write)
回転数	15000rpm
外形寸法 (W X D X H)	112.6 X 166.0 X 25.4 (mm)
質量	0.8kg

*1) : SCSI 環境に合わせて自動的に切り替わります。

*2) : 記憶容量は、フォーマット時、1GB=1000³B 換算です。

A.2 24 時間運用上の留意点

無人運転について

装置として不慮の事故に対する安全性を高める必要から、オフィス内に適切な防災対策（耐震対策、煙探知器、温度センサーなど）が施され、かつ防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機している必要があります。

誤切断防止

誤って電源を切断しないように、専用の電源（分電盤など）を準備することを推奨します。

A.3 LAN 経由の電源投入 / 切断時の留意点

本サーバでは、WOL(Wakeup On LAN) 機能によってクライアントから LAN 経由でサーバ本体の電源を投入 / 切断することができます。



ポイント

- サーバを強制的に電源切断した場合（電源スイッチを 4 秒以上押すなど）は、本サーバを手動で再起動してください。再起動しない場合、WOL 機能が動作しません。
- WOL 機能は、クライアントから最初に認識される LAN コントローラが WOL 機能に対応している場合にご使用になれます。本サーバでは、オンボード LAN が WOL 機能に対応しています。LAN カードを搭載している場合は、オンボード LAN のアダプタバインドを「1」にする必要があります。

電源投入 / 切断指示

Windows NT Server4.0 をお使いの場合、「Power MANagement for Windows V1.1」により、LAN 経由での電源投入 / 切断指示が出来ます。本ソフトウェアは、サーバ / クライアントでそれぞれ必要となります。ただし、サーバ側ではエージェント（電源制御される側）のみの対応となります。なお、ルータ装置を経由して本サーバの電源制御を行う場合には、本サーバ側に電源制御ボックス (FMRP-201/FMRP-202) が必要です。詳しくは「Power MANagement for Windows V1.1」が格納されている ServerWizard CD 中のオンラインマニュアル (Readme ファイル) を参照願います。

電源切断用 HAL 使用時の注意

UPS サービスによる電源制御を行う場合は、電源切断用 HAL を使用しないでください。

電源切断用 HAL

クライアント側から本サーバの電源切断を人手の介入なしで行う場合、シャットダウン時の電源制御機能の設定が必要です。以下の手順で HAL の入替えおよびシャットダウン時の電源制御機能の設定を行って下さい。

用意するもの

HAL の入替えは、以下のフロッピーディスクを使用します。使用するフロッピーディスクを間違えないように注意してください。間違えると、システムの再インストールが必要となります。

- ServerWizard CD から作成した「ES320 HAL for Windows NT (R) 4.0 1CPU」
- ServerWizard CD から作成した「ES320 HAL for Windows NT (R) 4.0 2CPU」

- Windows NT Server 4.0 (SBS 4.5 を含む) インストール時に入れ替えを実施する場合

Windows NT Server 4.0 インストール中に、コンピュータ構成の一覧が表示されたら以下に示す手順で電源切断用 HAL への入れ替えを実施してください。

1 Windows NT Server 4.0 インストール中に、以下に示すコンピュータ構成の一覧が表示されます。

コンピュータ	: MPS Uniprocessor PC (1CPU の場合)
	: MPS Multiprocessor PC (2CPU の場合)
ディスプレイ	: 自動検出
キーボード	: 106 日本語キーボード
キーボードレイアウト	: 日本語 (MS-IME97)
ポインティングデバイス	: Logitech マウスポートマウス

- 2 「コンピュータ: MPS Uniprocessor PC」が表示された場合は、手順 3 から手順 6 を、「コンピュータ: MPS Multiprocessor PC」が表示された場合は、手順 7 から手順 10 を行います。
- 3 「コンピュータ: MPS Uniprocessor PC」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 4 「その他 (ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 5 ServerWizard CD から作成した「ES320 HAL for Windows NT (R) 4.0 1CPU」をフロッピーディスクドライブにセットし、[Enter] キーを押します。
- 6 「Fujitsu Powerdown Capability HAL for Uniprocessor」を選択し、[Enter] キーを押します。
以降は、画面に表示されるメッセージに従って、インストールを続行します。
- 7 「コンピュータ: MPS Multiprocessor PC」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 8 「その他 (ハードウェアメーカー提供のディスクが必要)」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 9 ServerWizard CD から作成した「ES320 HAL for Windows NT (R) 4.0 2CPU」をフロッピーディスクドライブにセットし、[Enter] キーを押します。
- 10 「Fujitsu Powerdown Capability HAL for Multiprocessor」を選択し、[Enter] キーを押します。
以降は、画面に表示されるメッセージに従って、インストールを続行します。

- 既に Windows NT Server 4.0 がインストール済の場合
手順を以下に示します。

- 1 Windows NT Server 4.0 を起動します。
- 2 MS-DOS コマンドプロンプトを起動し、Windows NT Server 4.0 がインストールされているディレクトリ（ここでは¥winnt とします）の下の ¥system32 に移動し、現在使用している HAL モジュールを退避します。

```
cd ¥winnt¥system32 [ENTER]  
copy hal.dll hal.org
```

- 3 フロッピーディスクの中のモジュールをコピーします。
マルチプロセッサの場合とユニプロセッサの場合とで、使用するフロッピーディスクが異なります。

```
copy a:¥halpmva.dll hal.dll (ユニプロセッサの場合)  
copy a:¥halpvm.dll hal.dll (マルチプロセッサの場合)
```

- 4 Windows NT Server 4.0 をシャットダウンし、サーバを再起動します。



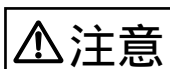
ポイント

本手順で電源切断用 HAL をインストール後、Windows NT 4.0 Service Pack を適用すると標準の HAL に入れ替わりますので、再度、同じ手順で電源切断用 HAL のインストールを実施してください。

シャットダウン時の電源制御機能の設定

Windows NT Server 4.0 のインストール後に次の操作を行い、シャットダウン時の電源制御機能を有効にします。

- 1 アドミニストレータ権限で Windows NT Server 4.0 にログオンします。
- 2 [スタート]をクリックします。
「スタート」メニューが表示されます。
- 3 [ファイルを指定して実行]をクリックします。
- 4 「名前」ボックスに「regedt32」と入力し、[OK]をクリックします。
「レジストリエディタ」ウィンドウが表示されます。



注意

指示



レジストリの変更時に誤った設定を行うと、システムが起動できなくなります。変更するときは十分に注意してください。

[ローカルマシン上の HKEY_LOCAL_MACHINE] ウィンドウをアクティブにし、以下のレジストリキーに移動します。

```
¥¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE  
¥Microsoft¥Windows NT¥CurrentVersion¥Winlogon
```

- 5 [PowerdownAfterShutdown] をダブルクリックします。
[文字列エディタ]ダイアログボックスが表示されます。
- 6 「文字列」ボックスに「1」を入力し、[OK]をクリックします。
- 7 メニューの「レジストリ」をクリックし、「レジストリエディタの終了」をクリックします。
設定した内容は、ただちに反映されます。再起動する必要はありません。

本操作を実施後、手動による電源切断を行う場合でも、「電源を切断しても安全です」のメッセージは表示されず、自動的に電源が切断されます。

A.4 CPU 増設時の OS の変更手順

既に運用しているサーバで CPU を増設する場合には、OS はマルチプロセッサカーネルに変更するため、再インストールしてください。

ただし、Windows 2000 Server および Windows NT Server 4.0 の場合は、OS を変更することで、マルチプロセッサカーネルに変更することができます。

以下に、マルチプロセッサカーネルへの変更方法について説明します。



ポイント

- 変更前には必ずデータのバックアップ作業を行ってください。
- マルチプロセッサカーネルに変更する場合、適用しているサービスパックと同じものを使用してください。
Windows NT Server 4.0 の場合、本体に添付されている最新のサービスパックを適用した後、マルチプロセッサカーネルに変更してください。

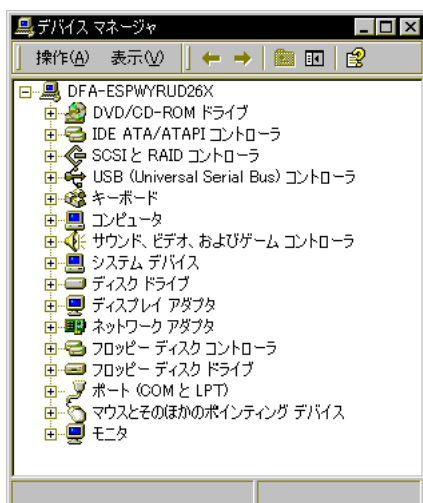
Windows 2000 Server の場合

以下に示す手順で、OS を変更した後に「5.5 CPU の取り付け」(142 ページ) に従って、CPU を増設してください。

- 1 Windows 2000 Server を起動します。
- 2 デバイスマネージャを起動します。
 - 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定 (S)] の [コントロールパネル (C)] をクリックします。
「コントロールパネル」が表示されます。
 - 2 「コントロールパネル」の [システム] アイコンをダブルクリックします。
「システムのプロパティ」が表示されます。

- 3 [ハードウェア] タブを選択し、[デバイスマネージャ] にある [デバイスマネージャ (D)...] ボタンをクリックします。

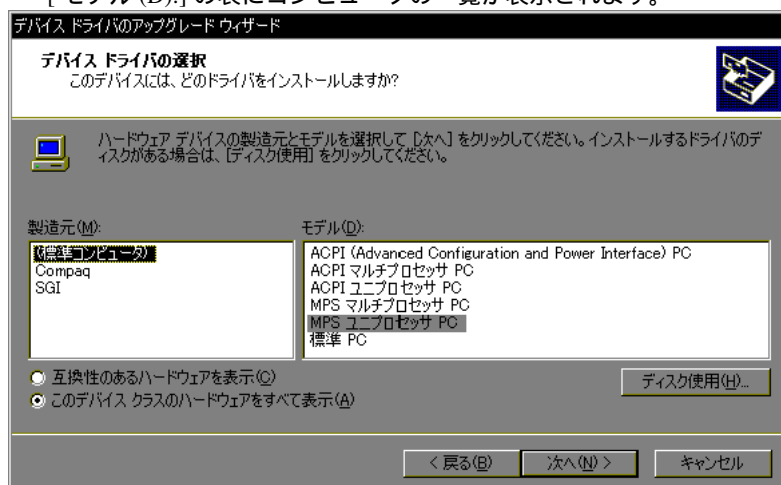
「デバイスマネージャ」が起動されます。



- 3 現在使用しているコンピュータのプロパティを表示します。
- 1 [表示 (V)] メニューから [デバイス (種類別) (E)] をクリックします。
 - 2 ツリー表示の中から [コンピュータ] アイテムを選択し、先頭に表示されている [+] を [-] に展開します。
 - 3 [コンピュータ] アイテム配下に [ACPI ユニプロセッサ PC] アイテムが表示されるので、[ACPI ユニプロセッサ PC] アイテムをダブルクリックします。
「ACPI ユニプロセッサ PC のプロパティ」が表示されます。
- 4 デバイスドライバのアップグレードウィザードを起動します。
[ドライバ] タブを選択し、[ドライバの更新 (P)...] ボタンをクリックします。
「デバイスドライバのアップグレードウィザード」が起動します。
- 5 ドライバの更新を行います。
- 1 「デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始」画面で [次へ (N)>] ボタンをクリックします。
「ハードウェアデバイスドライバのインストール」画面が表示されます。
 - 2 検索方法の選択で、[このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する (D)] を選択し、
[次へ (N)>] ボタンをクリックします。
「デバイスドライバの選択」画面が表示されます。

- 3 [このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示 (A)] を選択し、[製造元 (M):] の表から 「(標準コンピュータ)」 を選択します。

[モデル (D):] の表にコンピュータの一覧が表示されます。



- 4 「ACPI マルチプロセッサ PC」を選択し、[次へ (N)>] ボタンをクリックします。

「デバイスドライバのインストールの開始」画面が表示されるので、[次へ (N)>] ボタンをクリックします。



注意

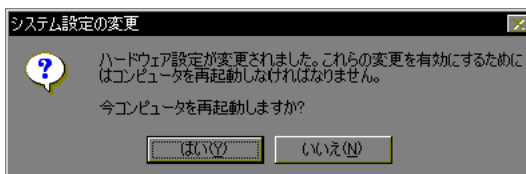
間違ったモデルを選択すると正常に動作しません。再インストールが必要になる場合がありますので、変更の際には十分注意してください。

- 5 ドライバの更新後、「デバイスドライバのアップグレードウィザードの完了」画面が表示されるので [完了] ボタンをクリックします。

「ACPI マルチプロセッサ PC のプロパティ」が表示されます。

6 シャットダウン後、電源を切ります。

- 1 [閉じる] ボタンをクリックします。
「システム設定の変更」ウィンドウが表示されます。
- 2 再起動を行うかどうかを問うメッセージが表示されるので、
[はい(Y)] ボタンをクリックします。



シャットダウン後、自動的に再起動しますので、シャットダウン後、再起動する前に本体の電源を切ってください。

7 CPU フィールドアップグレードキットを追加します。

8 サーバの電源を入れ、起動します。

起動後、1 から 3 の手順でコンピュータが入れ替わっていることを確認してください。

Windows NT Server 4.0 の場合

以下に示す手順で OS を変更した後に、「5.5 CPU の取り付け」(142 ページ) に従って、CPU を増設してください。

以下の説明では、Windows NT Server 4.0 がインストールされているドライブを C:、ディレクトリを %winnt、CD-ROM のドライブを D: として説明しています。また、Service Pack は、「SP」と略記しています。

なお、setup.log ファイルは、適用している SP によって「隠しファイル」属性が設定されます。「隠しファイル」属性を解除してから操作を行う必要があります。

- 1 Windows NT Server 4.0 を起動します。
- 2 セットアップ用のファイルを退避します。
コマンドプロンプトを起動し、Windows NT Server 4.0 がインストールされているディレクトリ (c:%winnt) の下のディレクトリ repair にある setup.log ファイルを退避します。

```
C:¥>cd %winnt%\repair
C:¥winnt%\repair>copy c:¥winnt%\repair¥setup.log setup.sav
```

3 セットアップ用のファイルを編集します。

setup.log ファイルの [Files.WinNt] セクションの「kernel32.dll」,「ntdll.dll」,「winsrv.dll」,「hal.dll」,「ntoskrnl.exe」および「win32k.sys」の記述を以下のとおり編集します。

```
¥WINNT¥system32¥kernel32.dll = "kernel32.dll", "6eb98"  
¥WINNT¥system32¥ntdll.dll = "ntdll.dll", "6adae"  
¥WINNT¥system32¥winsrv.dll = "winsrv.dll", "46bc3"  
¥WINNT¥system32¥win32k.sys = "win32k.sys", "14a966"  
¥WINNT¥system32¥hal.dll = "halmps.dll", "1326b"  
¥WINNT¥system32¥ntoskrnl.exe = "ntkrnlmp.exe", "f4e85"
```

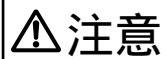
4 CD-ROM をセットします。

Service Pack の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

(Windows NT 4.0 Option Pack がある場合は、Service Pack をハードディスクに展開してください。)

5 モジュールを退避します。

コマンドプロンプトを起動し、Windows NT Server 4.0 がインストールされているディレクトリ (c:¥winnt) の下のディレクトリ system32 にある現在使用中の以下のモジュールを別名のモジュールに退避します。



注意

コマンドプロンプトを必ず起動してください。
コマンドプロンプトでの処理を行わない場合、正常に動作しないおそれがあります。

```
C:¥>cd ¥winnt¥system32  
C:¥winnt¥system32>ren c:¥winnt¥system32¥hal.dll hal.sav  
C:¥winnt¥system32>ren c:¥winnt¥system32¥ntoskrnl.exe ntoskrnl.sav  
C:¥winnt¥system32>ren c:¥winnt¥system32¥ntdll.dll ntdll.sav  
C:¥winnt¥system32>ren c:¥winnt¥system32¥kernel32.dll kernel32.sav  
C:¥winnt¥system32>ren c:¥winnt¥system32¥winsrv.dll winsrv.sav  
C:¥winnt¥system32>ren c:¥winnt¥system32¥win32k.sys win32k.sav
```

以下のコマンドを実行して、モジュールが退避できていることを確認します。

```
C:¥winnt¥system32>dir c:¥winnt¥system32¥hal.sav  
C:¥winnt¥system32>dir c:¥winnt¥system32¥ntoskrnl.sav  
C:¥winnt¥system32>dir c:¥winnt¥system32¥ntdll.sav  
C:¥winnt¥system32>dir c:¥winnt¥system32¥kernel32.sav  
C:¥winnt¥system32>dir c:¥winnt¥system32¥winsrv.sav  
C:¥winnt¥system32>dir c:¥winnt¥system32¥win32k.sav
```

6 モジュールを展開します。

CD-ROM のドライブ (d:) から現在のディレクトリ (c:¥winnt¥system32) にモジュールを展開します。

SP 未適用の場合（Windows NT Server 4.0 の CD-ROM から複写する場合）

```
C:\winnt\system32>copy d:\i386\halmps.dll hal.dll
C:\winnt\system32>copy d:\i386\ntkrnlmp.exe ntoskrnl.exe
C:\winnt\system32>copy d:\i386\ntdll.dll ntdll.dll
C:\winnt\system32>expand d:\i386\kernel32.dl_ kernel32.dll
C:\winnt\system32>expand d:\i386\winsrv.dl_ winsrv.dll
C:\winnt\system32>expand d:\i386\win32k.sys_ win32k.sys
```

SP 適用済みの場合（適用しているサービスパックの CD-ROM から複写する場合）

```
C:\winnt\system32>copy d:\i386\halmps.dll hal.dll
C:\winnt\system32>copy d:\i386\ntkrnlmp.exe ntoskrnl.exe
C:\winnt\system32>copy d:\i386\ntdll.dll ntdll.dll
C:\winnt\system32>copy d:\i386\kernel32.dll kernel32.dll
C:\winnt\system32>copy d:\i386\winsrv.dll winsrv.dll
C:\winnt\system32>copy d:\i386\win32k.sys win32k.sys
```

以下のコマンドを実行して、モジュールが展開できていることを確認します。

```
C:\winnt\system32>dir c:\winnt\system32\hal.dll
C:\winnt\system32>dir c:\winnt\system32\ntoskrnl.exe
C:\winnt\system32>dir c:\winnt\system32\ntdll.dll
C:\winnt\system32>dir c:\winnt\system32\kernel32.dll
C:\winnt\system32>dir c:\winnt\system32\winsrv.dll
C:\winnt\system32>dir c:\winnt\system32\win32k.sys
```

7 Windows NT Server 4.0 をシャットダウンし、電源を切ります。

8 CPU フィールドグレードアップキットを追加します。

9 サーバを再起動します。

WOL（Wake Up On LAN）機能によってクライアントから LAN 経由でサーバ本体の電源を切断する場合には、電源切断用 HAL への入れ替えおよびシャットダウン時の電源制御機能の設定が必要です。詳しい作業手順は「A.3 LAN 経由の電源投入 / 切断時の留意点」（334 ページ）を参照してください。

A.5 メモリダンプの取得

ここでは、メモリダンプを取得するための Windows 2000 Server または Windows NT Server 4.0 の設定方法について説明します。

メモリダンプの設定をしておくと、Windows 2000 Server または Windows NT Server 4.0 で STOP エラー（致命的なシステムエラー）が発生した場合に、自動的にデバッグ情報が保存されます。保存されたメモリダンプにより、エラー発生時の原因を分析することができます。

特に大容量メモリ搭載時には、メモリダンプファイルの設定には注意が必要です。メモリダンプ取得のための設定は、運用に使用するファイル（OS やアプリケーションなど）をインストールした後に行います。

以下に、Windows 2000 Server または Windows NT Server 4.0 の設定方法の詳細について説明します。

A.5.1 メモリダンプを取得するための設定方法（Windows 2000 Server の場合）

メモリダンプを取得するためには、以下の設定を確認および指定してください。

ハードディスクの空き容量の確認

メモリダンプを取得するには、ページングファイルとメモリダンプファイルの作成用に、それぞれ以下のディスク空き容量が必要です。

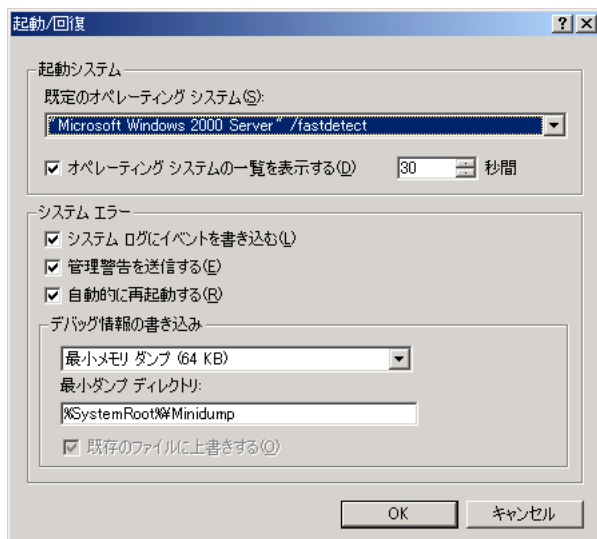
メモリダンプファイルの種類	ページングファイル (システムがインストールされているドライブに必要な 空き容量)	メモリダンプファイル (任意のドライブに必要な空 き容量)
最小メモリダンプ (64KB)	2MB 以上	64KB
カーネルメモリダンプ	搭載メモリサイズによって、 50 ~ 800MB	搭載メモリサイズによって、 50 ~ 800MB
完全メモリダンプ	搭載メモリ容量 +1MB 以上	搭載メモリ容量

メモリダンプファイルの設定

メモリダンプファイルの設定手順を以下に示します。

- 1 サーバ本体の電源を投入し、administrator 権限で Windows 2000 Server にログオンします。
- 2 メモリダンプファイルを格納するドライブの空き容量を確認します。
前述の「ハードディスクの空き容量の確認」で必要な空き容量を確認してください。
ドライブに空き容量がない場合は、「A.5.3 メモリダンプが取得できないとき」
(352 ページ)を参照してください。

- 3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] の [コントロールパネル] をクリックします。
- 4 [コントロールパネル] の [システム] をダブルクリックします。
システムのプロパティが表示されます。
- 5 システムのプロパティで [詳細] タブを表示し、[起動 / 回復] ボタンをクリックします。
起動 / 回復ダイアログボックスが表示されます。



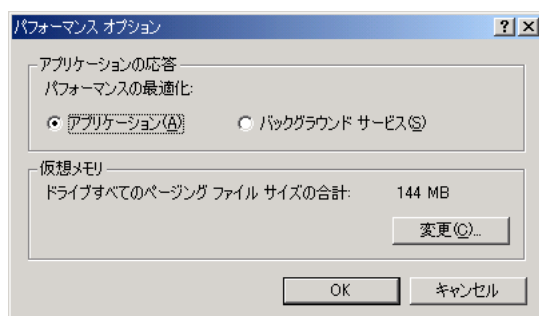
- 6 起動 / 回復ダイアログボックスで以下の設定を行います。
 - ・ [デバッグ情報の書き込み] で、メモリダンプファイルの種類を選択します。
 - 最小メモリダンプ (64KB)
最小限の情報がメモリダンプファイルに記録されます。
致命的なエラーが発生するたびに、[最小ダンプディレクトリ] に指定したディレクトリに新しいファイルを作成します。
 - カーネルメモリダンプ
カーネルメモリだけがメモリダンプファイルに記録されます。
 - 完全メモリダンプファイル
システムメモリのすべての内容がメモリダンプファイルに記録されます。
 - ・ [ダンプファイル] または [最小ダンプディレクトリ] に、メモリダンプファイルを保存するディレクトリをフルパスで指定します。
カーネルメモリダンプまたは完全メモリダンプの場合、[既存ファイルに上書きする] のチェックボックスをオンにすると、デバッグ情報が毎回指定したファイルに上書きされます。
- 7 [OK] ボタンをクリックし、システムのプロパティを終了します。
- 8 システムを再起動します。
これらの設定は、システムを再起動することによって有効になります。

ページングファイルの設定

ページングファイルの設定手順を以下に示します。

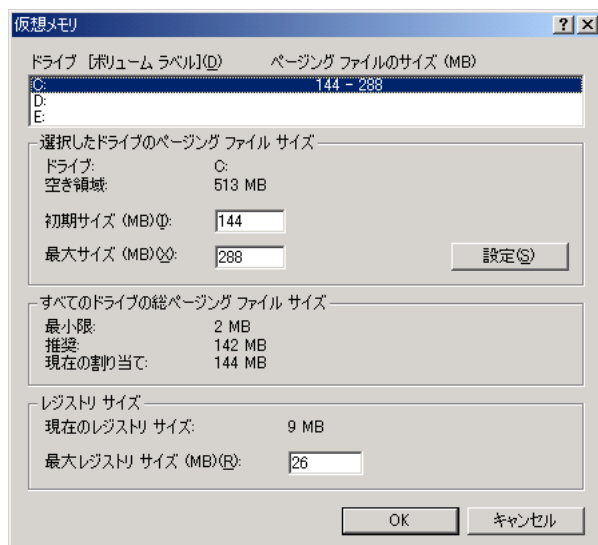
- 1 サーバ本体の電源を投入し、administrator 権限で Windows 2000 Server にログオンします。
- 2 システムがインストールされているドライブの空き容量を確認します。前述の「ハードディスクの空き容量の確認」で必要な空き容量を確認してください。
ドライブに空き容量がない場合は、「A.5.3 メモリダンプが取得できないとき」(352 ページ)を参照してください。
- 3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] の [コントロールパネル] をクリックします。
- 4 [コントロールパネル] の [システム] をダブルクリックします。
システムのプロパティが表示されます。
- 5 システムのプロパティで [詳細] タブを表示し、[パフォーマンスオプション] ボタンをクリックします。

パフォーマンスダイアログボックスが表示されます。



- 6 [パフォーマンス]で[仮想メモリ]の[変更]ボタンをクリックします。

仮想メモリダイアログボックスが表示されます。

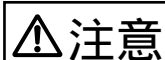


- 7 ページングファイルを作成するドライブを指定します。
[ドライブ]でシステムがインストールされているドライブを選択します。
選択したドライブが[選択したドライブのページングファイルサイズ]の[ドライブ]に表示されます。

- 8 [初期サイズ]を指定します。

設定したダンプファイルの種類によって値を設定します。

「ハードディスクの空き容量の確認」(344 ページ)の表にある値以上を設定します。



注意

ページングファイルを小さい値に設定した場合、性能に影響があります。
ページングファイルは、推奨値以上に設定することをお勧めします。

- 9 [最大サイズ]を指定します。
[初期サイズ]以上を設定します。
- 10 設定を保存します。
[選択したドライブのページングファイルサイズ]の[設定]ボタンをクリックします。
設定が保存され、[ドライブ]の[ページングファイルのサイズ]に設定した値が表示されます。
- 11 [OK]ボタンをクリックし、[仮想メモリ]ダイアログボックスを終了します。
- 12 [OK]ボタンをクリックし、システムのプロパティを終了します。
- 13 システムを再起動します。
これらの設定は、システムを再起動することによって有効になります。

A.5.2 メモリダンプを取得するための設定方法 (Windows NT Server 4.0 の場合)

メモリダンプを取得するためには、以下の設定を確認および指定してください。

最新のサービスパックの適用

Windows NT Server 4.0 インストール時には、必ず最新のサービスパックを適用してください。

サービスパックには、メモリダンプの取得に関する修正が含まれています。

ハードディスクの空き容量の確認

メモリダンプを取得するには、ページングファイルとメモリダンプファイルの作成用に、それぞれ以下のディスク空き容量が必要です。

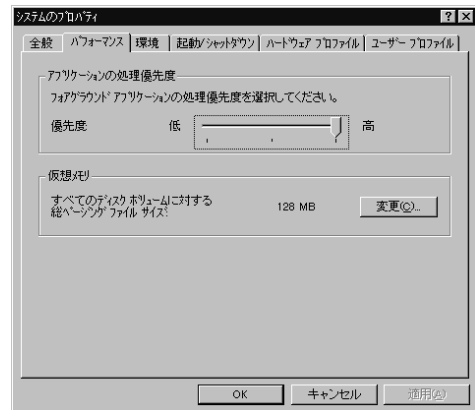
ファイルの種類	必要な空き容量
ページングファイル	システムがインストールされているドライブに「搭載メモリサイズ + 11MB」以上の空き容量。 ページングファイルは、OS インストール時に作成されます。ファイル名は、PAGEFILE.SYS となります。
メモリダンプファイル	任意のドライブに「搭載メモリサイズと同量」の空き容量。 メモリダンプファイルは、STOP エラー発生時にしか作成されません。 STOP エラー発生時に空き容量がなくなっていないように常に確保しておいてください。

ページングファイルの設定

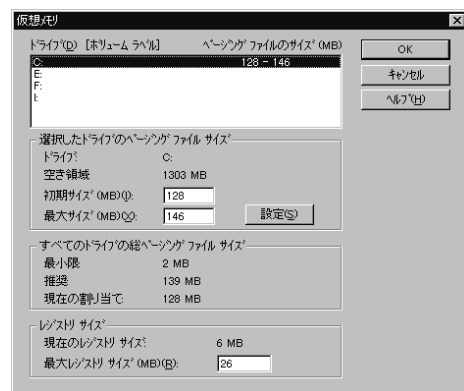
ページングファイルの設定手順を以下に示します。

- 1 サーバ本体の電源を投入し、administrator 権限で Windows NT Server 4.0 にログオンします。
- 2 システムがインストールされているドライブの空き容量を確認します。
ページングファイルを作成するには、「搭載メモリサイズ + 11MB」以上の空き容量が必要です。
ドライブに空き容量がない場合は、「A.5.3 メモリダンプが取得できないとき」(352 ページ) を参照してください。
- 3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] の [コントロールパネル] をクリックします。
- 4 [コントロールパネル] の [システム] をダブルクリックします。
システムのプロパティが表示されます。

- 5 システムのプロパティで[パフォーマンス]タブをクリックします。



- 6 [パフォーマンス]で[仮想メモリ]の[変更]ボタンをクリックします。
仮想メモリダイアログボックスが表示されます。



- 7 ページングファイルを作成するドライブを指定します。
[ドライブ]でシステムがインストールされているドライブを選択します。
選択したドライブが[選択したドライブのページングファイルサイズ]の[ドライブ]に表示されます。
- 8 [初期サイズ]を指定します。
[選択したドライブのページングファイルサイズ]の[初期サイズ]に、「搭載メモリサイズ」以上を設定します。
- 9 [最大サイズ]を指定します。
[選択したドライブのページングファイルサイズ]の[最大サイズ]に、「搭載メモリサイズ + 11MB」以上を設定します。

- 10 設定を保存します。
[選択したドライブのページングファイルサイズ] の [設定] ボタンをクリックします。
設定が保存され、[ドライブ] の [ページングファイルのサイズ] に設定した値が表示されます。
- 11 [OK] ボタンをクリックし、[仮想メモリ] ダイアログボックスを終了します。
- 12 [OK] ボタンをクリックし、システムのプロパティを終了します。
- 13 システムを再起動します。
これらの設定は、システムを再起動することによって有効になります。

メモリダンプファイルの設定

メモリダンプファイルの設定手順を以下に示します。

- 1 サーバ本体の電源を投入し、administrator 権限で Windows NT Server 4.0 にログオンします。
- 2 メモリダンプファイルを格納するドライブの空き容量を確認します。
メモリダンプファイルを作成するには、「搭載メモリサイズと同量」の空き容量が必要です。
ドライブに空き容量がない場合は、「A.5.3 メモリダンプが取得できないとき」(352 ページ) を参照してください。
- 3 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] の [コントロールパネル] をクリックします。
- 4 [コントロールパネル] の [システム] をダブルクリックします。
システムのプロパティが表示されます。
- 5 システムのプロパティで [起動 / シャットダウン] タブをクリックします。



6 [回復] で以下の設定を行います。

- [デバッグ情報を次へ書き込む] のチェックボックスをオンにします。
チェックボックスをオンにすると、STOP エラー（致命的なシステムエラー）が発生した場合に、メモリダンプが取得されます。
 - 入力フィールドには、メモリダンプファイルを保存するファイル名をフルパスで指定します。
例）F:\MEMORY.DMP
 - [既存ファイルに上書きする] のチェックボックスをオンにすると、デバッグ情報が毎回指定したファイルに上書きされます。
- [自動的に再起動する] のチェックボックスをオンにします。
チェックボックスをオンにすると、エラー発生時のデバッグ情報取得後に、システムが自動的に再起動します。

7 [OK] ボタンをクリックし、システムのプロパティを終了します。

8 システムを再起動します。

これらの設定は、システムを再起動することによって有効になります。

A.5.3 メモリダンプが取得できないとき

メモリダンプファイルが作成されない場合には、以下の方法で対処します。

正しい設定を行う

メモリダンプを取得できない場合、ページングファイルの設定とダンプファイルの設定を確認してください。

設定方法については、「A.5.1 メモリダンプを取得するための設定方法 (Windows 2000 Server の場合)」(344 ページ)または「A.5.2 メモリダンプを取得するための設定方法 (Windows NT Server 4.0 の場合)」(348 ページ)を参照してください。

システムドライブ以外にメモリダンプを取得する

システムドライブ (c:¥) にメモリダンプを取得している場合は、システムドライブ以外にメモリダンプを取得するように設定を変更します。

設定方法については、「A.5.1 メモリダンプを取得するための設定方法 (Windows 2000 Server の場合)」(344 ページ)または「A.5.2 メモリダンプを取得するための設定方法 (Windows NT Server 4.0 の場合)」(348 ページ)を参照してください。

システムドライブしかない場合や、どのドライブにも空き容量がない場合には、次のどちらかの方法で対処します。

- ・ ハードディスクを増設する。
- ・ より大きな容量のハードディスクへ交換する。

搭載メモリを減らしてメモリダンプを取得する

搭載メモリサイズに関係なくメモリダンプを取得する場合には、搭載メモリをメモリダンプ取得可能なメモリ容量に減らしてメモリダンプを取得します。

搭載メモリを変更した場合は、メモリダンプの設定を確認してください。

詳細は、「A.5.1 メモリダンプを取得するための設定方法 (Windows 2000 Server の場合)」(344 ページ)または「A.5.2 メモリダンプを取得するための設定方法 (Windows NT Server 4.0 の場合)」(348 ページ)を参照してください。

デバッグ情報の書き込みの種類を変更する (Windows 2000 Server の場合)

メモリダンプを取得できない場合、ボリュームサイズの空き容量の範囲内に収まるデバッグ情報の書き込みの種類を選択してください。

上記対処ができない場合、ハードディスクを増設するなどの方法で対処します。

Windows NT Server 4.0 を再インストールする (Windows NT Server 4.0 の場合)

システムドライブに十分な空き容量が確保できるシステム区画を作成し、Windows NT Server 4.0 を再インストールします。

十分な空き容量が確保できない場合には、次のどちらかの方法で対処します。

- ・ ハードディスクを増設する。
- ・ より大きな容量のハードディスクへ交換する。

[インストール区画について]

Windows NT Server 4.0 セットアップによって作成できるブートパーティションのサイズは、4GB までです。

ただし、ハードディスクドライブを、Windows NT Server 4.0 を実行させている他の同一環境のシステムに接続し、ディスクアドミニストレータを実行して NTFS パーティションを作成すれば、最大 7.8GB でフォーマットされているパーティションにインストールが可能になります。本パーティションへ Windows NT Server 4.0 をインストールする場合、ファイルシステムの選択画面で、「現在のファイルシステムをそのまま使用（変更なし）」を選択します。

A.5.4 カスタムメイドにおけるプレインストールタイプについて

OS インストールタイプ（Windows NT Server 4.0）では、メモリダンプを取得できない構成があります。メモリダンプの取得可能なメモリ容量を以下に示します。

メモリダンプをシステムドライブに取得する場合

搭載可能なメモリ容量 = ([システム区画サイズ] - [インストールサイズ]) / 2

この値を超えない実際のメモリの組み合わせ

なお、インストールサイズには、ページングファイルのサイズは含みません。

メモリダンプをシステムドライブ以外に取得する場合

搭載可能なメモリ容量 = [システム区画サイズ] - [インストールサイズ]

この値を超えない実際のメモリの組み合わせ

なお、インストールサイズには、ページングファイルのサイズは含みません。

詳細は「A.5.2 メモリダンプを取得するための設定方法（Windows NT Server 4.0 の場合）」（ 348 ページ）を参照してください。

また、メモリダンプを取得できない場合は、「A.5.3 メモリダンプが取得できないとき」（ 352 ページ）を参照してください。

A.6 ディスプレイドライバに関する注意事項

Windows NT Server 4.0 および Windows 2000 Server でのディスプレイドライバに関する注意事項を以下に示します。

- Windows NT Server 4.0 において、3D (OpenGL) のプログラムを使用した場合、画面の表示の乱れや、3D のプログラムが異常終了する場合があります。その場合は、「画面のプロパティ」の設定で、色数を 256 色 (8 ビット) または 16777216 色 (24 ビット) に設定し運用してください。
- Windows NT Server 4.0 において、カラーパレットに True Color を設定している場合、Regedt32 を起動するとレジストリエディタ内のアイコンが表示されないことがあります。Regedt32 をお使いになる時は True Color 以外を設定してください。
- Windows NT Server 4.0 および Windows 2000 Server において、「画面のプロパティ」のスクリーンセーバーの設定で、ラインアートを選択すると、画面がちらつくことがあります。ディスプレイの故障ではありません。
- Windows 2000 Server 上のデバイスマネージャを表示すると、モニタが 2 つ表示されますが、運用上特に支障はありません。

付録 B

CONTENTS

B.1	コンフィグレーションシート	356
B.2	障害連絡シート	377

B.1 コンフィグレーションシート

本サーバにおけるハードウェアの構成と各種セットアップの設定値を記録しておきます。

選択設定箇所については マークのチェックボックスを用意してありますので、設定したチェックボックスを塗りつぶすか、またレ印を付けておきます。

なお、工場出荷時の初期値は で示しています。また、変更禁止の設定項目については で示しています。

B.1.1 ハードウェア構成

(1) 5 インチ内蔵オプション (SCSI-ID は装置で設定すること)

搭載位置	搭載 5 インチ内蔵オプション	SCSI ID (*3)
ベイ 1	CD-ROM (全モデル標準搭載)	-
ベイ 2	内蔵光磁気ディスクユニット 内蔵 1/4 インチ CRMT ユニット 内蔵 DLT ユニット (*1) 内蔵 DAT ユニット 内蔵 DAT オートチェンジャ (*2) 内蔵 EDT20 ユニット	4 5 6
ベイ 3	内蔵光磁気ディスクユニット 内蔵 DLT ユニット (*1) 内蔵 DAT ユニット 内蔵 DAT オートチェンジャ (*2) 内蔵 EDT20 ユニット	4 5 6

*1) DLT ユニットはベイ 3 に搭載し、ベイ 2 も占有

*2) DAT オートチェンジャはベイ 3 に搭載し、ベイ 2 も占有

*3) ベイ 2 とベイ 3 で同一の SCSI-ID は設定できません。

(2) 3.5 インチ内蔵オプション

搭載位置	搭載 3.5 インチ内蔵オプション	
ベイ 1	9.1GB (GP5-HDH9C)	9.1GB (GP5-HDH9D)
	18.2GB (GP5-HDH89)	18.2GB (GP5-HDH8A)
	18.2GB (GP5-HDH8B)	36.4GB (GP5-HDH63)
ベイ 2	9.1GB (GP5-HDH9C)	9.1GB (GP5-HDH9D)
	18.2GB (GP5-HDH89)	18.2GB (GP5-HDH8A)
	18.2GB (GP5-HDH8B)	36.4GB (GP5-HDH63)
ベイ 3	9.1GB (GP5-HDH9C)	9.1GB (GP5-HDH9D)
	18.2GB (GP5-HDH89)	18.2GB (GP5-HDH8A)
	18.2GB (GP5-HDH8B)	36.4GB (GP5-HDH63)
ベイ 4	9.1GB (GP5-HDH9C)	9.1GB (GP5-HDH9D)
	18.2GB (GP5-HDH89)	18.2GB (GP5-HDH8A)
	18.2GB (GP5-HDH8B)	36.4GB (GP5-HDH63)
ベイ 5	9.1GB (GP5-HDH9C)	9.1GB (GP5-HDH9D)
	18.2GB (GP5-HDH89)	18.2GB (GP5-HDH8A)
	18.2GB (GP5-HDH8B)	36.4GB (GP5-HDH63)

(3) CPU

搭載タイプ	搭載個数 (*1)	
Pentium®III 933MHz	1 個	2 個
Pentium®III 1BGHz		

*1) 全モデルで CPU を 1 個搭載しています。

(4) RAM モジュール

搭載スロット位置	搭載 RAM モジュール			
DIMM1 (*1)	128MB	256MB	512MB	1GB
DIMM2	128MB	256MB	512MB	1GB
DIMM3	128MB	256MB	512MB	1GB
DIMM4	128MB	256MB	512MB	1GB

*1) 全モデルに 256MB を DIMM スロット 1 に実装済み (カスタムメイドサービスをご利用の場合を除きます)。

(5) オプションカード

各拡張カードは次の表の 付数字の順にスロットを使用してください。
次の表のとおりに搭載しないと、拡張カードが正常に動作しません。

搭載可能な拡張カード (型名)	PCI スロット					
	64 ビット				32 ビット	
	1	2	3	4	5	6
サーバモニタモジュール (GP5-SM103)	-	-	-	-		-
SCSI アレイコントローラカード (GP5-143)		-	-	-	-	-
SCSI アレイコントローラカード (GP5-144/ GP5-1441)			-	-	-	-
SCSI アレイコントローラカード (GP5-145)			-	-	-	-
SCSI アレイコントローラカード (GP5-146)			-	-	-	-
SCSI アレイコントローラカード (GP5-148)			-	-	-	-
SCSI アレイコントローラカード (GP5-150 / GP5-1501)			-	-	-	-
SCSI アレイコントローラカード (GP5-151)		-	-	-	-	-
SCSI カード (GP5-127)	-					
ファイバーチャネルカード (GP5-FC101)				-	-	-
暗号プロセッサカード (GP5-CP101)					-	-
LAN カード (GP5-181)						
LAN カード (GP5-183)						
LAN カード (GP5-185)						
LAN カード (GP5-186)						
LAN カード (GP5-187)						
LAN カード (GP5-188)						
LAN カード (GP5-189)						
クラスタキット 4(GP5S634)						
RS232C カード (GP5-162)						
通信カード V/X(GP5-163)						
ISDN カード (GP5-165)						
ISDN 接続 G3/G4FAX 通信 カード (GP5-161)						-
FAX モデムカード (FMV-FX533)						
サーバマネージメントアシストボード (GP5-SMB101)	-	-	-	-		

- : 搭載不可を示す

B.1.2 BIOS セットアップ項目

Disk Drives メニューの設定項目

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)				
Floppy Drive A	None	360KB 5.25-inch	1.2MB 5.25-inch	720KB 3.5-inch	1.44MB 3.5-inch
		2.88MB 3.5-inch			
Floppy Drive B	None	360KB 5.25-inch	1.2MB 5.25-inch	720KB 3.5-inch	1.44MB 3.5-inch
		2.88MB 3.5-inch			
IDE Primary Channel Master	[Press Enter]				
Device Detection mode	Auto	None	User		
Device Type	(変更不可)	Hard Disk	IDE CD-ROM		
Cylinder	(変更不可)	0 ~ 999	---		
Head	(変更不可)	0 ~ 999	---		
Sector	(変更不可)	0 ~ 999	---		
Size	(変更不可)	0 ~ 99999	---		
Hard Disk LBA Mode	Auto	Disabled			
Hard Disk Block Mode	Auto	Disabled			
Hard Disk 32 Bit Access	Enabled	Disabled			
Advanced PIO Mode	Auto	Mode0	Mode1	Mode2	Mode3
		Mode4			
fer Mode	Auto	Disabled	Multiword Mode0	Multiword Mode1	Multiword Mode2
			Ultra Mode0	Ultra Mode1	Ultra Mode2
			Ultra Mode3	Ultra Mode4	
IDE Primary Channel Slave	[Press Enter]				
Device Detection mode	Auto	None	User		
Device Type	(変更不可)	Hard Disk	IDE CD-ROM		
Cylinder	(変更不可)	0 ~ 999	---		
Head	(変更不可)	0 ~ 999	---		
Sector	(変更不可)	0 ~ 999	---		
Size	(変更不可)	0 ~ 99999	---		
Hard Disk LBA Mode	Auto	Disabled			
Hard Disk Block Mode	Auto	Disabled			
Hard Disk 32 Bit Access	Enabled	Disabled			

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)				
Advanced PIO Mode	Auto	Mode0	Mode1	Mode2	Mode3 Mode4
DMA Transfer Mode	Auto	Disabled	Multiword Mode0	Multiword Mode1	Multiword Mode2 Ultra Mode0 Ultra Mode1 Ultra Mode2 Ultra Mode3 Ultra Mode4

Onboard Peripherals メニューの設定項目

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)				
Serial Port 1	Enabled	Disabled			
Base Address	3F8h	2F8h	3E8h	2E8h	
IRQ	4	11			
Serial Port 2	Enabled	Disabled			
Base Address	3F8h	2F8h	3E8h	2E8h	
IRQ	3	10			
Parallel Port	Enabled	Disabled			
Base Address	3BCh	378h	278h		
IRQ	5	7			
Operation Mode	Standard	Bi-directional	EPP	ECP	
ECP DMA Channel	-	1	3		
Floppy Disk Controller	Enabled	Disabled			
IDE Controller	Primary	Disabled			
PS/2 Mouse Controller	Enabled	Disabled			
USB Host Controller	Enabled	Disabled			
USB Legacy Mode	Enabled	Disabled			
Onboard SCSI	Enabled	Disabled			
Onboard Ethernet Chip	Enabled	Disabled			

Power Management メニューの設定項目

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)		
Power Management Mode	Enabled	Disabled	
IDE Hard Disk Standby Timer	1 ~ 15	OFF	
System Sleep Timer	2 ~ 120	OFF	
Sleep Mode	Standby	Suspend	--
Power Switch < 4sec.	Power Off	Suspend	
System wake-up event			
Modem Ring Indicator	Enabled	Disabled	
PCI Power Management	Enabled	Disabled	
RTC Alarm	Time	Date/Time	Disabled
Resume Day	Resume 日付の入力		
Resume Time	Resume 時間の入力		
Restart on AC/Power Failure	Pre-State	Enabled	Disabled

Boot Options メニューの設定項目

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)		
Boot Sequence			
1st.	Floppy Disk A: Intel UNDI, PXE-2.0(build 078)	Hard Disk C:	IDE CD-ROM
2nd.	Floppy Disk A: Intel UNDI, PXE-2.0(build 078)	Hard Disk C:	IDE CD-ROM
3rd.	Floppy Disk A: Intel UNDI, PXE-2.0(build 078)	Hard Disk C:	IDE CD-ROM
	1st. Other [ディスクレスタイプ / OS インストールタイプ] 1st. On Board Adaptec AIC-7899 SCSI 2nd. Legacy PCI SCSI [アレイタイプ] 1st. Legacy PCI SCSI 2nd. On Board Adaptec AIC-7899 SCSI		
	2nd:E-IDE		
4th.	Floppy Disk A: Intel UNDI, PXE-2.0(build 078)	Hard Disk C:	IDE CD-ROM
Primary Display Adapter	Auto	Onboard	
Fast Boot	Auto	Disabled	
Silent Boot	Enabled	Disabled	
Num Lock After Boot	Enabled	Disabled	
Memory Test	Enabled	Disabled	

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)	
Release All Blocked Memory	Enabled	Disabled
Boot from LANDesk(R) Service Agent	Enabled	Disabled
Configuration Table	Enabled	Disabled
Update BIOS with Boot Block	Enabled	Disabled

Date and Time メニューの設定項目

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)
Date	現在の日付が表示されます。
Time	現在の時刻が表示されます。

System Security メニューの設定項目

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)	
Supervisor Password	None	Present
Password Request	--	POST OS
User Password	None	Present
Disk Drive Control		
Floppy Drive	Normal	Write Protect All Sectors Write Protect Boot Sector
Hard Disk Drive	Normal	Write Protect All Sectors Write Protect Boot Sector
Processor Serial Number	Enabled	Disabled

System Event Log メニューの設定項目

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)			
System Event Logging				
Event Logging	Enabled	Disabled		
Clear Event logs	Enabled	Disabled		
Event Log BIOS Version	イベントログ BIOS の版数表示			
Total Number of Event Logs	格納済みイベントログ数表示			
Available Space for Event Logs	イベントログ格納領域残り領域表示			
・ View Event Log	イベントログビューワの表示			
Event Control				
Temperature/Voltage	Enabled	Disabled		
ECC	Enabled	Disabled		
PCI	Enabled	Disabled		
CPU Fan	Enabled	Disabled		
Event Process				
Action after Critical Event	NMI	Reset	Power Cycle	
POST Error Stop	Enabled	Disabled		
Threshold Event Control	Enabled	Disabled		
Temperature Threshold Settig				
CPU	65	70		
System	0	5	42	47
Voltage Threshold Setting				
1st CPU Core Voltage	CPU スロット 1 の CPU の電圧表示			
2nd CPU Core Voltage	CPU スロット 2 の CPU の電圧表示			
CPU	1.5	1.6	1.9	2.0
+1.5V	1.3	1.4	1.6	1.7
+1.8V	1.6	1.7	1.9	2.0
+2.5V	2.4	2.5	2.9	3.0
+2.85V	2.5	2.6	3.1	3.2
+3.3V	2.9	3.1	3.5	3.7
+3.3V Standby	2.9	3.1	3.5	3.7
+5V	4.5	4.6	5.4	5.5
+12V	10.6	10.7	13.3	13.4
-12V	9.6	10.1	13.9	14.4
Other Sensors Setting				
CPU Fan	700	2400		

Console Redirection メニューの設定項目

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)	
Console Redirection	Enabled	Disabled
Communication Port	Serial 1	Serial 2
Parity/Databits/Stopbits	N, 8, 1	
COM Port Baud Rate	9600	19200

Advanced Options メニューの設定項目

• Memory Cache Options

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)	
Level 1 Cache	Enabled	Disabled
Level 2 Cache	Enabled	Disabled
Memory at 15MB-16MB Reserved for	System	Add-on Card

• PnP/PCI Options

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)					
PCI IRQ Setting	Auto Manual					
PCI Slot 1 (*)	--	05	09	10	11	15
PCI Slot 2 (*)	--	05	09	10	11	15
PCI Slot 3 (*)	--	05	09	10	11	15
PCI Slot 4 (*)	--	05	09	10	11	15
PCI Slot 5 (*)	--	05	09	10	11	15
PCI Slot 6 (*)	--	05	09	10	11	15
Onboard VGA (*)	--	05	09	10	11	15
Onboard SCSI (*)	--	05	09	10	11	15
Onboard LAN (*)	--	05	09	10	11	15
USB HOST Controller	--	05	09	10	11	15
PCI IRQ Sharing	Yes	No				
VGA Palette Snoop	Enabled	Disabled				
Plug and Play OS	Yes	No				
Reset Resource Assignments	Yes	No				

*) PCI IRQ Setting が「Auto」の場合、自動的に IRQ が設定されます。

• CPU Frequency

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)							
Bus Frequency	133MHz							
CPU frequency Multiplier	Auto							
	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	
	6.5	7	7.5	8	8.5	9	9.5	
Processor Speed	プロセッサ動作周波数表示							
Single Processor MP Table	Enabled		Disabled					
MP Table Version	V1.1		V1.4					

• Chipset Settings

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)		
CAS Latency	2	3	By SPD

B.1.3 SCSI Select ユーティリティ

設定値を変更した場合は、以下の表に必ず設定値を記入してください。

Configure/View Host Adapter Setting メニューの設定項目

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)										
SCSI Bus Interface Definitions											
Host Adapter SCSI ID	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15						
SCSI Parity Checking	Enabled		Disabled								
Host Adapter SCSI Termination	Enabled		Disabled								

Additional Options

Boot Device Options	∧
SCSI Device Configuration	∧
Advanced Configuration Options	∧

Boot Device Options

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)										
Boot Channel	A First		B First								
Boot SCSI ID	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15						
Boot LUN Number	0	1	2	3	4	5	6	7			

SCSI Device Configuration

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)							
SCSI Device ID #0								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #1								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #2								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #3								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #4								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)							
SCSI Device ID #5								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #6								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #7								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #8								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #9								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)							
SCSI Device ID #10								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #11								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #12								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #13								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)							
SCSI Device ID #14								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						
SCSI Device ID #15								
Sync Transfer Rate (MB/Sec)	160	80.0	53.4	40.0	32.0	26.8	20.0	
	16.0	13.4	10.0	ASYN				
Initiate Wide Negotiation	yes	no						
Enable Disconnection	yes	no						
Send Start Unit Command	yes	no						
Enabled Write Back Cache	N/C	yes	no					
BIOS Multiple LUN Support	yes	no						
Include in BIOS Scan	yes	no						

Advanced Configuration Options

設定項目	設定値 (: 工場出荷設定値 : 変更禁止設定値)		
Reset SCSI Bus at IC Initialization	Enabled	Disabled	
Display <Ctrl><A> Message During BIOS Initialization	Enabled	Disabled	
Extended BIOS Translation for DOS Drives > 1GByte	Enabled	Disabled	
Verbose/Silent Mode	Verbose	Silent	
Host Adapter BIOS	Enabled	Disabled:Not scan	
		Disabled:scan bus	
Domain Validation	Enabled	Disabled	
Support Removable Disks Under BIOS as Fixed Disks	Disabled	Boot Only	All Disks
BIOS Support for Bootable CD-ROM	Enabled	Disabled	
BIOS Support for Int13 Extensions	Enabled	Disabled	

B.1.4 RAS 支援サービス設定項目

部品寿命情報 参照・設定メニュー

搭載部品	搭載位置	搭載日	交換予定日
UPS (バッテリ)	-		
SCSI アレイコントローラカード (GP-)			
SCSI アレイコントローラカード (GP-)			
CPU FAN (プロセッサのファン)	-		-
筐体 FAN (冷却ファン)	-		-
電源ユニット	-		-

起動監視機能メニュー

設定項目	設定値 (: 初期値 : 変更禁止)
POST 監視	する しない
タイムアウト時間	30 分 (15 ~ 999 分)
リトライ回数	1 2 3 4 5
OS ブート監視	(設定不可)
タイムアウト時間	(設定不可)
リトライ回数	(設定不可)
リトライ方法	(設定不可)

電源切断モード設定メニュー

設定項目	設定値 (: 初期値 : 変更禁止)
安全に電源を切断するモード	有効にする 無効にする

障害の通知方法設定メニュー

設定項目	設定値 (: 初期値 : 変更禁止)
LCD への表示	(設定不可)
画面への表示	チェックボックス オン チェックボックス オフ

B.1.5 システム資源管理表

各種拡張カードで選択できる I/O ポートアドレス、割り込みレベルおよび DMA チャンネルは、以下の表のとおりです。

I/O ポートアドレス

品名	I/Oポートアドレス (h)																設定方法
	100	140	180	1C0	200	240	280	2C0	300	340	380	3C0	400				
PRIMERGY ES320																	設定なし
ビデオ/フロッピー																	
シリアルポート1																	

備考：シリアルポートは、4ポートの中から最高2ポートまで選択できます。

- *

は、それぞれの拡張カードで選択できるI/Oポートアドレス空間を示します。
- はそのマークが重なる目盛のアドレスから16バイトまたは16バイト内の一部の空間を使用します。

(はデフォルトで選択されている空間)
- はそのマークが重なる目盛のアドレスから32バイトまたは32バイト内の一部の空間を使用します。

(はデフォルトで選択されている空間)

割り込みレベル / DMA チャンネル

品名 (型名)	割り込みレベル																DMAチャンネル							設定方法		
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	NONE	0	1	2	3	4	5		6	7
PRIMERGY ES320	●	●	●					●	●	●				●	●					●		●				BIOSセットアップ
標準実装 SCSIコントローラ																										BIOSセットアップ
標準実装 ネットワークコントローラ																										BIOSセットアップ
SCSII/Aイコントローラカード (GP5-143)																										BIOSセットアップ
SCSII/Aイコントローラカード (GP5-144/GP5-1441)																										BIOSセットアップ
SCSII/Aイコントローラカード (GP5-145)																										BIOSセットアップ
SCSII/Aイコントローラカード (GP5-146)																										BIOSセットアップ
SCSII/Aイコントローラカード (GP5-148)																										BIOSセットアップ
SCSII/Aイコントローラカード (GP5-150/GP5-1501)																										BIOSセットアップ
SCSII/Aイコントローラカード (GP5-151)																										BIOSセットアップ
SCSIIカード (GP5-127)																										BIOSセットアップ
ファイバチャネルカード (GP5-FC101)																										BIOSセットアップ
LANカード (GP5-181)																										BIOSセットアップ
LANカード (GP5-183)																										BIOSセットアップ
LANカード (GP5-185)																										BIOSセットアップ
LANカード (GP5-186)																										BIOSセットアップ
LANカード (GP5-187)																										BIOSセットアップ
LANカード (GP5-188)																										BIOSセットアップ
LANカード (GP5-189)																										BIOSセットアップ
クワッドポート (GP5S634)																										BIOSセットアップ
サーバモニタケーブル (GP5-SM103)																										BIOSセットアップ
RS232Cカード (GP5-162)																										BIOSセットアップ
通信カード V/X (GP5-163)																										BIOSセットアップ
ISDNカード (GP5-165)																										BIOSセットアップ
暗号プロセッサカード (GP5-CP101)																										BIOSセットアップ
FAXモデムカード (FMV-FX533)																										BIOSセットアップ
サーバマネージメントアシスタントカード (GP5-SMB101)																										BIOSセットアップ

：それぞれの拡張カードで利用できる割り込みレベル、DMAチャンネルを示します（はデフォルトの設定値）。

：標準実装のSCSIコントローラで使用する。

：標準実装のネットワークコントローラで使用する。

注）その機能を使用しない場合、Disabledへの変更可能。

B.1.6 RAID 設計シート

ハードディスクの搭載位置と設定

搭載ハードディスクベイ		この位置にハード ディスクを搭載し ましたか？		チャンネル (固定)	SCSI-ID (固定)	ハードディスク の製品名 (GP5-HD***)	ハードディスク の容量 (***GB)
ベイ1	➡	有・無	➡	0	ID=0	()	()GB
ベイ2	➡	有・無	➡	0	ID=1	()	()GB
ベイ3	➡	有・無	➡	0	ID=2	()	()GB
ベイ4	➡	有・無	➡	0	ID=3	()	()GB
ベイ5	➡	有・無	➡	0	ID=4	()	()GB

フィジカルパックの定義

1 つのフィジカルパックは、同一型のハードディスクで構成してください。

ハードディスク-ID	チャンネル0
0	<input type="text"/>
1	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>

注意！

一つのフィジカルパックは、同一型名のハードディスクで構成してください。

システムパックの定義

システムドライブNo.	RAIDレベル	容量	キャッシュモード
0	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
1	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
2	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
3	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
4	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
5	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
6	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
7	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
8	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
9	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
10	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
11	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
12	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
13	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
14	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
15	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
16	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
17	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
18	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
19	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
20	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
21	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
22	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
23	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
24	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
25	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
26	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
27	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
28	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
29	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
30	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
31	0・1・5・6	() GB	ライトスルー
32	0・1・5・6	() GB	ライトスルー

— (記入例1)

システムドライブNo.	RAIDレベル	容量	キャッシュモード
0	0・1・ 5 ・6	(9.1) GB	ライトスルー

注意！

- ・同一フィジカルバック内に、RAID0と他のRAIDレベルのフィジカルバックを混合して作成しないでください。リビルドできなくなります。
- ・本サーバではライトバックの使用を推奨しません。使用する場合は、SCSIアレイコントローラカードに添付の取扱説明書を参照してください。

B.2 障害連絡シート

モデル名・型名	<input type="checkbox"/> PRIMERGY ES320 (GP5-)		
OS			
設置環境			
LAN・WAN環境			
発生日時			
現象	何をしているときに何が起きたか。 画面にどのようなメッセージが表示されたか。		
		添付資料	有・無

オプション構成および設定内容は、コンフィグレーションシートを使用してください。

索引

あ

暗号プロセッサカード 191

い

イベントログ 317
インジケータ 13
インストールできる OS 198
インレット 8,9

え

エラーメッセージ (POST) 313
エラーメッセージ (SCSI ドライバ関連) ... 257

お

オンボード LAN 180

か

カーソルキー 13
ガイドレールの取り付け条件 159
ガイドレールの取り付け方法 159
拡張カード共通の留意事項 167
拡張カードの種類 163
拡張カードの取り付け 163,168
拡張 RAM モジュールの取り付け 139
拡張 RAM モジュールの取り外し 139

き

キーボード 13
キーボードコネクタ 8,9
キーボードのお手入れ 290

キーボードの接続 31
起動監視機能 274

こ

故障ランプ 4,6
コンフィグレーションシート 356
コンフィグレーションジャンパ 56
梱包物 18

さ

サーバ本体環境条件 24
サーバ本体のお手入れ 290
サーバマネージメントアシストボード 189
サーバモジュール 186

し

システム資源管理表 373
システムファン 10
システムファンの交換 194
システム修復ディスク 235,244
システム状態表示ランプ 4,6
障害の通知方法設定 278
障害連絡シート 377
使用するドライバ 201
冗長電源機能 194
上部カバーの取り外し 135
シリアルポートコネクタ 8,9

す

ストレージベイへの取り付け 147

せ

セキュリティ	11
設置	21
設置環境	23
設置スペース	24

た

第2 温度センサケーブル	187
--------------------	-----

つ

通信カード V/X	184
-----------------	-----

て

定期交換部品	267
ディスプレイコネクタ	8,9
ディスプレイの接続	30
テンキー	13
電源ケーブルの接続	34
電源スイッチ	4,6
電源切断方法の種類	44
電源切断モードの設定	276
電源ユニット	10
電源ユニットの取り付け	193
電源ユニットの取り外し	193
電源ランプ	4,6
電源を入れる	41
電源を切る	43
転倒防止足	25

と

搭載可能な拡張カード	164
ドライバディスクの作成方法	203
トラブルシューティング (サーバ本体)	310
トラブルシューティング (ディスプレイ) ..	311
トラブルシューティング (フロッピーディスクドライブ)	311
トラブルシューティング (内蔵ハードディスクユニット)	312
トラブルシューティング (内蔵 CD-ROM ドライブユニット) ..	312

な

内蔵オプションの接続形態	148
内蔵オプションベイへの取り付け	146
内蔵ハードディスクユニットの仕様	331
内蔵ハードディスクユニットの取り付け ..	150
内蔵光磁気ディスクユニットのお手入れ ..	298
内蔵 DAT オートチェンジャのお手入れ	301
内蔵 DAT ユニットのお手入れ	293
内蔵 DLT ユニットのお手入れ	299
内蔵 EDT20 ユニットのお手入れ	303
内蔵 1/4 インチ CRMT ユニットのお手入れ	296

は

ハードウェアの設定	54,55
ハードディスクアクセス表示ランプ	4,5,6
ハードディスク故障ランプ	4,5,6
ハードディスク状態表示ランプ	5
ハードディスク電源ランプ	5
パスワードの設定	88
バックアップ	305
パネル制御ケーブル	190
パラレルポートコネクタ	8,9

ふ

ファイバーチャネルカード	191
プリンタの接続	33
フロッピーディスクドライブのクリーニング	292
フロッピーディスクドライブユニット	4,6
フロッピーディスクのセット	48
フロッピーディスクの取り出し	48
フロントカバー	4
フロントカバーキー	4,11,38
フロントカバーの取り外し	130
フロントドア	4
フロントドアを開ける	38

へ

ベースボード各部の名称	55
-------------------	----

ほ

本体仕様	326
------------	-----

ま	
マウス	14
マウスコネクタ	8,9
マウスのお手入れ	291
マウスの接続	31

め	
メモリエラー情報のクリア	277
メモリダンプの取得	344
メンテナンス区画	209

よ	
予防保守ランプ	4,6

ら	
ラックキー	12,39
ラックドアを開ける	39

わ	
割り込みレベル	374

A	
Alt キー	13
Application キー	13
Auto Server Restart	3

B	
Back Space キー	13
BIOS セットアップユーティリティ	54,57
BIOS セットアップユーティリティの起動 ..	58
BIOS セットアップユーティリティの終了 ..	59
BIOS 情報の退避	121
BIOS 情報の復元	123

C	
Caps Lock キー	13
CD-ROM ドライブユニット	4,6
CD-ROM のセットと取り出し	51

CPU スロット	10
CPU の取り付け	143
Ctrl キー	13

D	
Delete キー	13
DIMM スロット	10
DMA チャンネル	374

E	
End キー	13
Enter キー	13
Esc キー	13

F	
F キー	13
FAX モデムカード	185

H	
Home キー	13

I	
Insert キー	13
Intel® LANDesk® Server Manager	284
ISDN カード	183
ISDN 接続 G3/G4FAX 通信カード	184

L	
LAN カード	180
LAN ケーブルの接続	32

N	
NetWare 5.1 のインストール	252
Num Lock キー	13

P	
Page Down キー	13
Page UP キー	13

Pause キー	13
PCI スロット	10
Pentium® III プロセッサ	2
POST	313
Print Screen キー	13

R

RAID 設計シート	375
RAS	3,267
RAS 支援サービス	267
RCI コネクタ	8,9
RCI 制御スイッチおよび LED	8,9
RS-232C カード	183

S

SBS 2000 のインストール	209
SBS 4.5 のインストール	238
Scroll Lock キー	13
SCSI Select ユーティリティ	54,105
SCSI Select ユーティリティの起動	106
SCSI Select ユーティリティの終了	109
SCSI アレイコントローラカードの留意事項	171
SCSI カードの留意事項	171
ServerWizard	3
Space キー	13

U

USB コネクタ	8,9
----------------	-----

W

WakeUp On LAN 機能	3
Windows NT Server 4.0 のインストール	228
Windows 2000 Server のインストール	209
Windows キー	13
WOL	334

その他

10/100BASE-TX コネクタ	8,9
3.5 インチストレージベイ	5
5 インチストレージベイ	5
5 インチ内蔵オプションの搭載条件	155
5 インチ内蔵オプションの取り付け	154
5 インチ内蔵オプションの取り外し	154

PRIMERGY ES320
(2001 年 7 月発表タイプ)
取扱説明書

P3F1-0790-01-00

発行日 2001 年 6 月
発行責任 富士通株式会社
Printed in Japan

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利
の侵害については、当社はその責を負いません。
無断転載を禁じます。
落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。